SAMURAI CURRY PROJECT

CAMBODIA / PHNOM PENH

カンボジア・プノンペンで、
商品企画から販売までを体験する。

高校生プログラム
ご案内

2027年 正月・3月プログラム

この資料は、**ご家庭でご相談いただくためのもの**です。
プログラムの内容、安全管理の体制、費用、必要な手続きを、保護者の方が確認しやすい順に整理しました。お急ぎの判断は必要ありません。

開催地
カンボジア
プノンペン

対象
高校生
正月回は高校生中心

体制
日本人スタッフ常駐
1チーム10人

主催
サムライカレー
プロジェクト

PROGRAM ／ プログラムの概要

海外で、本物の商売を やってみる10日間です。

観光や語学研修とは、目的が異なります。参加者は現地で実際にお店を運営します。商品を考え、材料を仕入れ、調理し、お客さまに売り、売れなかった理由を考えて翌日に改善する。最終日には、自分たちがやったことを自分の言葉で発表します。

01 商品企画 ▸ 02 仕入れ ▸ 03 調理 ▸ 04 販売 ▸ 05 改善 ▸ 06 成果発表

答えのない場所で、自分で考える

正解が用意されていません。売れない理由を自分たちで探し、翌日に試す。この往復を、10日間くり返します。

1チーム10人で動く

役割を分担し、意見が割れたら話し合って決めます。初めての海外という参加者も多く、チームで進みます。

やってみた経験が、進路の言葉になる

現地での体験を振り返り、「何を学びたいか」を自分の言葉にするところまで、スタッフが伴走します。

高校生の参加者につく、5つのサポート

1. 毎日その日の出来事を、LINEグループで保護者の方にご報告します
2. ご希望の方に、30分の個人面談で大学の学部選びや将来の進路についてアドバイスします
3. 帰国後、オンラインで大学の志望動機書づくりをサポートします
4. ご希望に応じて、総合型選抜の推薦状を執筆します
5. プログラムの修了にあたり、卒業証明書を発行します

※上記は高校生の参加者が対象です。進路相談・志望動機書のサポート・推薦状の執筆は、進学先や選考の結果を保証するものではありません。

※プログラムは、参加者の成長や成果を保証するものではありません。何をどこまで得られるかは、参加者ご本人の取り組みによって異なります。

SCHEDULE ／ 10日間の流れ

入国から、最終プレゼンまで。

1日ずつ、できることを増やしていく設計です。毎日どこで何をしているかを、保護者の方にもご確認いただけます。

PHASE 01 入国

DAY 1　入国・市内視察、現地で買い出し

プノンペンに到着。街と人々の暮らしを見ながら、生活と活動の準備をします。

PHASE 02 マーケティング期

DAY 2　マーケティング講義・リサーチ、支援先の学校訪問

マーケティングの基礎理論を学んで調査。現地の学校で子どもたちと交流しながら、課題を見つけます。

DAY 3　仮説構築・ヒアリング講義、現地の大学生へヒアリング

プノンペン大学日本語学科の学生に、どんな物がいくらくらいで売れるかを日本語／英語でリサーチします。カレーが日常的に食べられている国ではないため、「何なら買ってもらえるか」を探すところから始まります。

DAY 4　プノンペン大学で試食会

自分たちが作ったものを実際に食べてもらい、お客さまのホンネを探ります。

PHASE 03 販売期

DAY 5　原価・運営講義、商品設計・チーム準備

価格と役割を決め、売る体制をつくります。運営予算は1チーム600ドル。この中から材料・看板・移動費をやりくりします。

DAY 6　販売

実際にお店を動かし、お客さまと向き合います。販売場所はショッピングモールやスタジアム、週末のマーケットなど。ヒアリングや試食会で知り合った現地の方に、いっしょに店頭に立ってもらうこともあります。

DAY 7　販売・改善

結果を見て、その日のうちに直して、また売る。

PHASE 04 ラップアップ期

DAY 8　休息・総合型選抜講座、個人面談

いったん休んで、ここまでの学びを整理します。

DAY 9　プレゼン準備講座、現地の学校との交流

伝え方を学び、発表に向けて仕上げます。自分たちの売上で買った支援品を持って、現地の学校を再訪します。

DAY 10　最終プレゼン・帰国

10日間でやったことを、自分の言葉で発表します。

※掲載の日程は標準的な構成例（暫定）です。開催回・年度により、日数・内容・順序が変わる場合があります。最新の日程は公式サイト、または個別相談でご確認ください。

INTERVIEW ／ 参加した高校生の話

行った人が、何を感じたのか。

高校2年生の冬に参加した、まおさんへのインタビューです。参加を決めるまでの迷い、現地での暮らし、まったく売れなかった初日のことを、本人が話しています。約21分。QRコードから、気になるところだけご覧いただけます。

参加者インタビュー（動画・約21分）

スマートフォンのカメラでQRコードを読み取ると、動画が開きます。

https://youtu.be/wIQkghcvKGU

この動画で話していること

00:00	母から聞いたとき、不安のほうが大きかった	01:45	行く前に感じていた、治安と体調の不安
02:25	実際の食事と、暮らしてみた印象	03:35	宿泊環境と、日本語で相談できる体制
04:05	現地で見た、街の様子	06:45	何を売ったのか｜路上での販売
07:30	まったく売れなかった、初日	08:10	価値観の違いに気づき、伝え方を変えた
09:25	一番の発見｜相手を理解すると、売れる	11:30	帰国後に変わった、自分の見方
12:30	学校への提案と、いまの探究活動	20:35	これから検討する方へ

※参加者ご本人の体験と感想です。感じ方や取り組みの内容には個人差があります。
※動画内の発言は、ご本人・保護者の方の同意を得て掲載しています。

SAFETY ／ 保護者の方へ①　安全管理体制

リスクをゼロにはできない。
だから、体制をお見せします。

海外での活動である以上、「絶対に安全です」とは申し上げられません。お伝えできるのは、どのような備えをしているかという事実です。以下をご確認のうえ、ご判断ください。

滞在・活動エリア

ゲートと門番のある住宅街に滞在

入り口に門番がいるゲートがあり、関係者以外は入れない住宅街（ゲーテッドコミュニティ）を拠点に、活動範囲を限定して運用します。

現地体制

日本人スタッフが常駐・帯同

宿舎に24時間日本人スタッフが常駐し、活動中もそばで対応します。

移動

移動はタクシー配車アプリで

市内の移動はタクシー配車アプリを使います。長時間歩かずに移動できるため、迷子や熱中症のリスクも抑えられます。

医療

日本語で受診できる医療機関をご案内

日本人の医師・看護師が常駐し、日本語で診療が受けられる医療機関をご案内します。24時間対応の緊急外来もあります。重い病気やケガに備え、規模の大きい病院とも連携しています。

保険

全員が海外旅行保険に加入

参加者は海外旅行保険に加入したうえで現地での活動に臨みます（加入は必須）。保険に加入していれば、診療費・薬代は保険でカバーされます。

保護者へのご連絡

活動の様子を毎日ご報告

現地での活動の様子は、専用のLINEグループで毎日ご報告します（詳しくは8ページ）。

渡航

航空券は大手旅行会社が手配

航空券は大手旅行会社が手配します（エコノミー／ビジネスの選択が可能）。ご家庭で個別に手配していただくこともできます。

通信

現地でも、連絡が取れます

宿舎はWi-Fi完備です。プログラム中はチームにスマートフォンを貸し出すため、外出中もインターネットに接続できます。

※現地情勢（外務省の危険情報、タイ国境の状況、報道されている詐欺事案）については、次の6ページで詳しくご説明します。

SITUATION ／ 保護者の方へ④　現地情勢について

報道で見る「カンボジア」と、実際に滞在する場所。

ニュースをご覧になって、不安に感じられた方も多いと思います。ここでは私たちの見解ではなく、公的機関が公表している情報と、地理的な事実をお伝えします。そのうえでご判断ください。

外務省の危険情報（2026年7月2日発表／2026年9月2日確認）

プノンペンを含むカンボジアの大部分は、危険レベル1「十分注意してください」に区分されています。レベル2・3が発出されているのは、タイとの国境付近に限られます。

レベル3	タイ国境から30km以内	／　渡航は止めてください
レベル2	タイ国境から30〜50km	／　不要不急の渡航は止めてください
レベル1	上記以外の全土（プノンペンを含む）	／　十分注意してください

本プログラムの活動範囲はプノンペン市内および周辺に限定しており、レベル2・3の対象地域には立ち入りません。

距離

国境地帯とプノンペンは、車で約7時間

報道されている国境地帯と、滞在するプノンペンの間には、車でおよそ7時間の距離があります。2025年7月以降、両国軍の間で衝突が発生しましたが、同年12月27日に停戦が合意されました。外務省は、その後も緊張状態は続いているものの、6か月以上にわたって軍事衝突は発生しておらず、一時期に比べて安定した状況にあるとしています。これを受けて、国境から30kmを越えて50km以内の地域は、2026年7月2日の更新で危険レベルが2に引き下げられました。

報道されている詐欺事案

就労目的の渡航に向けた注意喚起です

外務省が注意を呼びかけているのは、「短期間で高収入」といった勧誘に応じて就労目的で渡航した方が、到着後に監禁状態に置かれるという事案です。本プログラムは就労目的の渡航ではなく、渡航手続き・宿舎・活動場所・移動手段はすべて主催者が手配します。参加者が個人で仕事の勧誘に応じる場面は、行程に含まれていません。

ご出発前に｜外務省「たびレジ」

外務省は、渡航先の安全情報をメールで受け取れる「たびレジ」を無料で提供しています。ご家族のメールアドレスも登録できるため、保護者の方が現地の情報を直接お受け取りいただけます。気になる点は、動画・個別相談でも具体的にお答えしています。

※上記は、外務省 海外安全ホームページ「危険情報」（2026年7月2日発表）に基づく区分です。危険情報は随時更新されます。渡航前に必ず外務省海外安全ホームページ（anzen.mofa.go.jp）で最新の情報をご確認ください。

STAY & MEAL ／ 保護者の方へ②　滞在環境と食事

10日間を過ごす、
生活の環境について。

お子さまが実際に寝起きし、食事をする場所の情報です。写真だけでは分かりにくい部分を、条件として整理しました。

立地

ゲート付き住宅街の中

入り口にゲートと門番があり、関係者以外は入れない住宅街の中に宿舎があります。整備された街区で、落ち着いて過ごせる環境です。

お部屋・男女区分

2〜3人で一部屋／部屋・フロア別

建物は男女混合ですが、お部屋とフロアは男女別です。1階が教室とキッチン、2〜3階が宿舎のため、移動の負担もありません。

設備

全室にエアコン・トイレ・ホットシャワー

洗濯機・冷蔵庫・電子レンジもあり、洗濯も自炊も自由にできます。

周辺環境

生活に必要なものが、すぐそばに

隣接するショッピングモールにスターバックス、スーパーマーケット、フードコートがあります。車で3分のイオンモールには、大戸屋・リンガーハット・ダイソーなどのほか、寿司コーナーや日本のレトルト食品を扱う大型スーパーもあります。

食事について

食事は参加費に含まれません。車で3分のイオンモールには、日本食のレストランやお惣菜、日本のレトルトカレー・お米も揃っています。ご希望の方には、日本の調理師免許を持つ日本人スタッフが食事をご用意します（1食 3〜4 USドル）。10日間で **100〜150 USドル程度**を目安にご準備ください。

宿舎のある住宅街の入り口ゲート

車で3分のイオンモールにある日本食レストラン

※お部屋の割り当てや周辺店舗の状況は、開催回により異なる場合があります。詳細は個別相談でご確認いただけます。

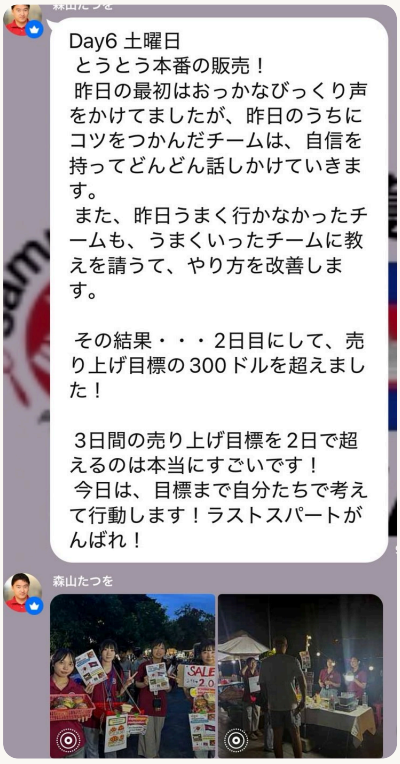
DAILY REPORT ／ 保護者の方へ③　現地からの毎日報告

言葉ではなく、
毎日の記録でご確認ください。

「私がついているので安心してください」という言葉より、実際に何をしているかをご覧いただくほうが確実だと考えています。開催中は、現地のスタッフがその日の活動を写真・動画・テキストで報告しています。参加中のご家庭にお送りしているものと同じ内容を、公開用のLINEグループでもご覧いただけます。

現地からの報告（LINEグループ）

参加をご検討中の保護者の方も、ご自由にご覧いただけます。
グループ内の表示名は、LINEの登録名とは別に設定できます。
発言せず、見るだけでも問題ありません。退出もいつでも可能です。



実際の毎日報告の一例。売上や進み方は、開催回・チームにより異なります。

ご参加の前に

- 開催期間中は投稿が増え、期間外は少なくなります
- 投稿には参加者が写る写真・動画が含まれます。掲載は、ご本人および保護者の方の同意を得た範囲で行っています
- プログラムについてのご質問・ご相談は、個別相談で承っています
- LINEの仕様により、18歳未満の方はご利用いただけない場合があります。保護者の方のアカウントからご参加ください

WHO ／ この報告を書いている人

最後に見ていただきたいのは、人です。

前のページの毎日の報告を書いているのが、このプログラムの代表です。大切なお子さまを送り出していただく以上、どんな人間が、何を考えて運営しているのかをお伝えします。

森山 たつを

MORIYAMA TATSUO

サムライカレープロジェクト 代表
株式会社スパイスアップ・アカデミア 代表取締役

略歴 早稲田大学 理工学部 卒業

本事業 2014年に本プログラムを立ち上げ、以来毎年実施

活動 拓殖大学 外国語学部 講師／新渡戸文化短期大学 食デザインコース 講師／桃山学院大学 兼任講師／青森県教育改革有識者会議 常任委員（2023年〜2025年）／武蔵野大学 アントレプレナーシップ学科 研究員

著書 『セカ就〜世界で就職するという選択肢』（朝日出版社）／『普通のサラリーマンのグローバル転職ガイド』（東洋経済新報社）ほか

高校生を受け入れている理由

私たちが用意しているのは、答えのない場所です。いきなり難しいことはさせません。1日ごとに難易度を上げていき、最後は自分たちだけで売り切るところまで、階段を用意しています。

高校生の受け入れを増やしているのは、早いうちにこの経験をしておくほど、その後の学び方や進路の選び方が変わっていくと考えているからです。

代表からのメッセージ（動画）

これまでの歩みと、プログラム設計の考え方を話しています。
QRコードから、そのままご覧いただけます。

https://youtu.be/cw4D1ZdJw3s

PRICE ／ 費用について

かかる費用は、正直に お伝えします。

参加費と、別途ご準備が必要な費用を分けて整理しました。あとから想定外の出費が出ないよう、はじめにすべてお見せします。

高校生プログラム 参加費 ／ 2027年 正月回

初回開催 特別価格

通常価格 ~~298,000円~~

198,000円（税込）

適用条件：2027年 正月回（高校生プログラムの初回開催）にお申し込みの方が対象です。以降の開催回は、通常価格でのご案内となる場合があります。

● 参加費に含まれるもの

- ✓ 宿泊費
- ✓ お店の運営予算（仕入れなど）
- ✓ 業務時間中の現地での移動費
- ✓ ユニフォーム

● 別途、ご準備が必要な費用

- ＋ 航空券（往復）
- ＋ ビザ代（約35USドル）
- ＋ 食費（10日間で100〜150USドル程度が目安）
- ＋ 海外旅行保険
- ＋ 日本国内の交通費
- ＋ 個人的な支出（おみやげ・自由時間など）

お支払いについて

お支払い方法・時期、キャンセルの規定については、お申し込み前に個別にご案内します。ご不明な点は、遠慮なくお尋ねください。

※料金は変更になる場合があります。最新の金額と適用条件は、公式サイトまたは個別相談でご確認ください。

CHECKLIST & FAQ ／ 未成年の参加手続きと、よくあるご質問

必要な準備を、いっしょに進めます。

高校生の参加にあたって、保護者の方にご確認・ご準備いただく主な項目です。手続きはスタッフがサポートします。

- ✓ 保護者の方の同意
- ✓ 緊急連絡先のご登録
- ✓ パスポート・ビザのご準備（ビザ代 約35USドル）
- ✓ 海外旅行保険へのご加入
- ✓ 学校への提出書類（必要に応じてご相談に対応）
- ✓ 保護者向けの事前説明（動画・個別相談でご確認いただけます）

よくあるご質問

Q 初めての海外でも参加できますか？

A はい。初めての海外という参加者も多くいます。少人数のチームで動き、現地では日本人スタッフが帯同します。

Q 英語が話せなくても大丈夫ですか？

A 語学力は参加の条件ではありません。現地での実践を通して、お客さまに伝える工夫を重ねていきます。

Q 現地での様子は、どのように知ることができますか？

A 開催中は、現地スタッフがその日の活動を写真・動画つきで報告しています。公開用のLINEグループでもご覧いただけます（8ページ）。

Q 学校を休む必要はありますか？届出は必要ですか？

A 正月プログラムは冬休み期間中の開催のため、多くの場合、授業を休まずにご参加いただけます（学校の日程により異なります）。3月開催の回は、授業期間と重なる場合があります。学校への届出の要否は学校の規定により異なりますので、事前にご確認ください。

Q 申し込みは、どう進めればよいですか？

A お申し込みはプログラム共通のフォームから承り、フォーム内の選択欄で「高校生中心プログラム」をお選びいただきます（12ページのQRコード）。ご不明な点がある場合は、先に動画のご視聴や個別相談もご利用いただけます。未成年の方のお申し込みには、保護者の方の同意が必要です。

NEXT STEP ／ ご検討の進め方

この場で決める必要は、ありません。

海外へ送り出すご判断です。ご家庭で話し合い、気になる点をすべて解消してから決めていただければと思います。次のような順序で、ご検討いただけます。

1 **現地からの報告を見る**

LINEグループで、実際の活動の様子をご覧いただけます（8ページのQRコード）。まずは雰囲気を知りたい段階の方に。

2 **動画で詳しく知る**

プログラムの内容、現地での活動や宿舎の様子、参加した高校生とご家族のインタビューを、動画でご覧いただけます。

3 **個別相談で、ご家庭の事情に合わせて相談する**

学校の日程、費用、お子さまの性格に合うかなど、個別の事情をふまえてご相談いただけます。下のお問い合わせフォームから承ります。

動画で詳しく見る

プログラムの内容、現地の様子、インタビューをまとめています。

https://samuraicurry.com/intern/schsmanga/

お申し込み

フォーム内の選択欄で「高校生中心プログラム」をお選びください。

プログラム共通のお申し込みフォーム

お問い合わせ

お問い合わせフォーム

サムライカレープロジェクト／公式サイト：samuraicurry.com

ご質問は、左のQRコードまたは**お問い合わせフォーム**から承ります。

メールでのお問い合わせ：mota@spiceupac.asia

本資料の内容は2026年9月時点のものです。日程・料金・実施内容は変更になる場合があります。最新の情報は公式サイト、または個別相談でご確認ください。